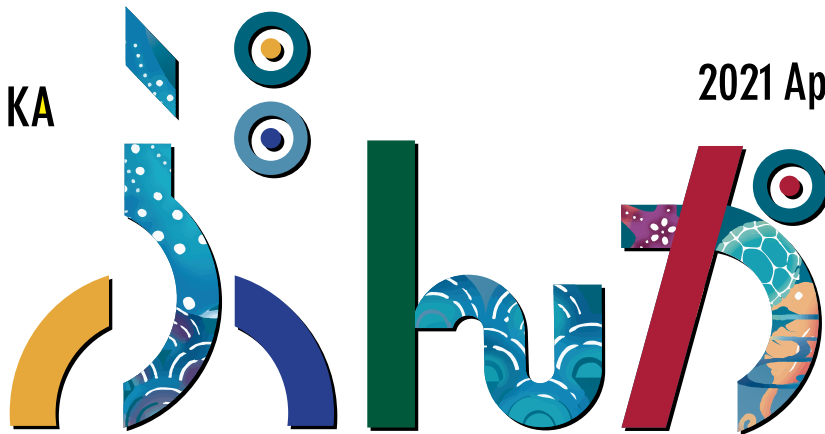
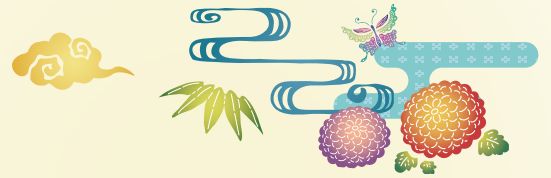




南風原町文化協会では、元年度に第9回子ども文化祭で書道のパフォーマンスを開催しました。文化センターのロビー一杯にシートを敷いて、思い思いのことばを書きました。また、高校生はみんなで大きな書を2枚制作し、作品はその後中央公民館のロビーに展示され、来場者を楽しませました。



沖縄県文化協会 会長
仲田 美加子

市町村文化協会の皆様、終息が見えない新型コロナウイルス感染拡大により、常に不安と緊張の中でご苦労されておられることとお察し申し上げます。

さて、沖縄県文化協会におきましては、コロナ禍で多くの文化芸術活動が中止や延期を余儀される中、理事会・定期総会を文書決議でご了承いただき、自主事業・受託事業等は可能な限り形を変え工夫しながら実施してまいりました。

「しまくとぅば語やびら大会」は、過去の出場者の中から各市町村1人ずつ28名のスピーチ動画を沖縄県文化協会のWebサイトにアップいたしました。

沖縄県文化協会賞は式典を中止し、各受賞者の顔写真入りプログラムを充実させました。引き続き各市町村文化協会において、それぞれ受賞の伝達式を取り計らっていただき感謝いたします。

第4回U-18島唄者コンテストは、予選・本選共に動画による審査を行い、最優秀賞など優れた島唄者3名が受賞しました。若者達の成長が楽しみです。コンテストの様子はWebサイトにアップしたところ1ヶ月で3,000回を超える視聴があり、関心の高さが伺えました。

また、多くの伝統芸能公演の機会が失われたことにより、貴重な民俗文化財の保存・継承活動が色あせないよう「特選沖縄の伝統芸能」・「シマdeシンポジウム」など、7年間の事業を追加のアンケートや聞き取り調査など加えて収録した報告書を令和3年3月吉日付で皆様方のお手元に送付いたしました。

世界中の人々が大変な想いをしている今の時代で、新たな挑戦を模索し文化活動に取り組んでいく事が求められています。そのために連携を強くし、互いに力を合わせて乗り越えて参りましょう。

コロナ禍の早い終息を祈りつつ皆様のご健勝を心から願いたします。



Contents

巻頭の言葉 沖縄県文化協会 会長 仲田 美加子

会員情報	1
自主事業 しまくとぅば語やびら大会 特別Ver.	10
自主事業 令和2年度 沖縄県文化協会賞	12
自主事業 第4回 U-18島唄者コンテスト	13
受託事業 地域の文化継承・発信支援事業	14
受託事業 しまくとぅば普及センター運営事業	15

国頭村文化協会

会長 大城 久昭 / 事務局長 宮里 光

国頭村文化協会は平成16年に設立され、現在では36団体が所属し、やんばる文化の振興・発展を目的に積極的に活動しています。

令和元年度において、鳥取県岩美町と国頭村の児童交流開始30回を記念し、「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2019」へ国頭村文化協会がゲストとして招待され、「かぎやで風」「花笠」「谷茶前」の3演目を披露しました。来場者より、「沖縄の雰囲気を感じられた」「琉球舞踊の独特な地謡と踊りで楽しめた」などの感想があり、沖縄の伝統芸能を体感していただけた交流になりました。

令和2年度については新型コロナウイルスの影響により、例年開催している舞台発表会や視察研修などが実施出来ませんでした。次年度は新しい生活様式を取り入れつつ、活動の幅を広げていきたいと思っています。



鳥取県青少年郷土芸能の祭典2019 国頭村文化協会 出演写真

今帰仁村文化協会

会長 仲本 義朗 / 事務局長 嘉陽 健

令和2年度は今帰仁村文化協会においても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総会は紙面開催、村祭り・桜祭りも中止となる等発表の機会もなくなり、日常の稽古についても制限を余儀なくされました。

直近の文化協会の活動としては前年度にはなりますが鹿児島県の和泊・知名町と友好都市締結の際、教育委員会と協働し、様々な催しと共に祝賀会を盛り上げました。また、本年度も県文化協会の表彰にて功労賞・奨励賞・団体賞全てで受賞者及び受賞団体を輩出し、しまくとぅば大会においても部会の協力のもと応募者の練習、大会用動画撮影を行う等コロナ禍の中に於いても感染対策を行った上で活動を続けています。

和泊・知名町友好
都市締結調印式



県文化協会表彰 村長表敬訪問

本部町文化協会

会長 饒平名 知政 / 事務局長 上間 清博

本部町文化協会は、平成16年10月に設立され、今年で18年目を迎えます。昨年、今年と新型コロナウイルスの感染拡大によって、町との共催事業、福祉祭り・桜祭り・海洋祭りが中止。また、会員が心待ちにしていた自主事業の平成18年度からスタートした文化祭が中止となり、戸惑いが隠せない状況です。しかし、誰となく「今が踏ん張り時・このような時こそ皆が連携を図り、知恵を絞って練習を続けよう」と設立当初の理念に戻り、少しずつではありますが、サークル、個人が練習に励んでいるところです。これからは、会員の意をくみ取り、会員の減少にならないようにこれまで以上に練習や稽古の成果を発表させる機会を設定し地域と共に連携して、当協会を盛り上げていきたいと思っています。



伊江村文化協会

会長 内間 博昭 / 事務局長 万寿 祥久

伊江村文化協会は、令和元年12月23日に設立総会を開き、正式に発足しました。組織が発足して翌年には、新型コロナウイルス感染症の感染が広がり、多くの人が集まっていたの事業等が出来なくなってしまいましたが、文化祭をはじめ、会員の結束を図りながら、焦らずに進んでいきたいと思っています。北部連合文化協会の皆さんとの連携や、県文化協会の事業への参加など活動のエリアを広げ、他市町村文化協会との交流など、会員の視野を広げ楽しく学びあえるような事業に取り組んでいきたいと考えております。



設立総会には多くの会員も参加して、事業計画や予算案などを確認しました

設立総会には沖縄県文化協会の仲田美加子会長（後列左から3人目）、大城松健副会長（後列左から2人目）もお祝いに駆けつけて下さいました。前列左から、渡久地政雄村議会議員、島袋秀幸村長、内間博昭会長、内間カズ工副会長、大城強副会長、後列左から4人目伊江村宮里徳成教育長
*役職は令和元年当時



名護市文化協会

会長 大城 松健 / 事務局長 岸元 ちさと

周知の通り、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、あらゆる社会活動が大打撃を受けた。当協会でも、なんとか事業を開催出来ないか模索し、役員会で話し合いを続けたが、昨年末の運営委員会で2月の第31回名護市文化祭も中止が決まった。

すべての事業が中止・延期となったが、名護市から補助金を受ける団体として、この1年間の各部会の状況を伝え、記録することが執行部の責務だと考え、「2020年の記録（仮）」を年度内に発行し、全会員と関係団体へ配布することにした。

コロナ禍でも、工夫して日々の活動を継続している研究所、サークルなどがあり、八割以上の会員が会費を納めているのは有り難いことだ。お互いの活動を記録として残すため写真や、報告文を提出してもらった。未だ、終息をみないコロナ禍で、3年度はどのように活動していくか、会員と共に考えたい。

フラメンコ市営市場で75の日イベントに参加



フラ・フラメンコ・バレエで自主事業開催

宜野座村文化協会

会長 津嘉山 朝政 / 事務局長 金武 哲也

宜野座村文化協会は平成8年に設立され、令和3年に24周年を迎えます。平成10年から継続して開催している文化祭は、昨年で第22回を数え、各部会の活動を広く知ってもらおう催し物となっております。

コロナ禍であった令和2年度の文化祭は、会員及び来場者の健康を第一に考え、3密回避が困難な舞台部門はやむを得ず中止を決定しましたが、展示部門については沖縄県のガイドラインに準じ感染拡大防止対策を講じたうえで11月21日・22日の2日間開催しました。両日とも多くの来場があり、塞ぎがちな情勢においても会員のモチベーションを保つことに繋がりました。

今後の抱負としては、県内各市町村の「しまくとぅば普及活動」が徐々に活発となってきており、近年では各地域のしまくとぅば教本が発行されております。宜野座村においても地元の文化継承のために「ぎのざくとぅば」の作成に向けて関係機関と連携しながら進めて参りたいと思います。



第22回宜野座村文化祭（展示部門）

金武町文化協会

会長 宜野座 清徳 / 事務局長 小橋川 晃

令和2年度は、コロナ感染防止の為、文化祭等の発表会がすべて中止になりました。女声コーラス部会による、首里城再建に願いをこめて企画した「ひやみかちコンサート」も残念ながら実施できませんでした。金武町立中央公民館も人数等の利用制限があり運営委員会、総会等は文書による書面会議で行いました。

その他の活動

令和2年11月25日～29日まで 第60回沖縄県身体障害者福祉展が金武町総合保健福祉センターで行われ、各部会部長が審査委員を務めた。

令和3年1月～2月19日 琉球銀行金武支店ロビーにて、絵画・工芸・ラン・写真の展示会を行った。

今後の活動課題

書道部会・しまくとうば部会が休部状態で、なんとか復活させたい。



写真部会 展示風景



女声コーラス

恩納村文化協会

会長 池宮城 秀光 / 事務局長 長浜 健一

当文化協会は例年、年間事業といたしまして、七月下旬に「うんなまつり」と同時開催の「しまくとうば語やびら大会」、十一月開催の恩納村文化祭「舞台発表部門」、今年度より「展示部門」を翌二月に開催予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、すべての事業が中止となりました。事業はもとより、普段の活動もかなりの影響が出てしまい、今後の活動に影響が出ないか心配をしていますが、令和3年度は、どのようにして日々の活動をしていけるかなど会員同士で、意見交換等行えればと考えております。

現在、当文化協会の部会は琉球古典音楽、琉球舞踊、太鼓、合唱、大正琴、日本舞踊、文芸、島くとうば、書道、陶芸、写真、美術、華道の十三部会となっており、過去に比べると会員減少とともに少なくなっているのが現状です。

今後は、多くの方々に加入を呼びかけていくことと、新しい部会を立ち上げて当文化協会の活性に努めたいと思っております。



うるま市文化協会

会長 山城 正俊 / 事務局長 高原 景一

令和2年度はコロナウイルス感染拡大禍の中で、国や県、市の諸々の事業が自粛要請される中、当文化協会においても自粛要請に伴い計画した大半の事業が中止せざるを得ませんでした。何とか事業が実施出来ないものかと対策を練っておりましたが結局見通しがたたず総ての事業が実施出来ない状態になりました。これは我々芸術芸能文化活動に携わるものとして大きな目標を失い失望感、今後の地域芸能文化活動の衰退に繋がりがねないことや市からの補助金も得られなくなり、事務局体制の維持も厳しくこのままでは文化協会活動の役割が果たせなくなるとして役員会議を重ね検討した結果、大きな不安や感染リスクを抱えながらも事業計画を見直し事業を実施すべきだとして、コロナ対策に万全を期しながら、10月に古典芸能コンクール受験者発表会、11月に第16回総合文化祭展示の部開催、12月に箏曲部温習発表会の3件の事業を実施することができました。

次年度はコロナ禍が収束し芸術文化活動が再開出来ることを祈るばかりです。



総合文化祭展示の部



古典芸能コンクール受験者発表会



箏曲部温習発表会

沖縄市文化協会

会長 立津 文堂 / 事務局長 山内 徳光

令和2年度はコロナ禍の中、7月19日(日)にしまくとぅば語やびら沖縄市大会を規模縮小で実施。二年目のエッセイ講座も9月と10月に2回にわたって開校、文化の窓43号についても多数の応募作品が集まり編集会議を重ね、また第24回エッセイ賞の審査も行うことで、3月に発刊します。

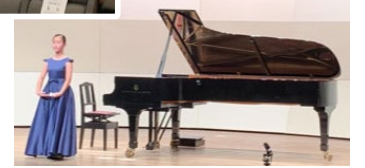
11月の沖縄市文化祭は沖縄市体育館での会場開催の中止を余儀なくされたが、作品展に替えて、各部会員の作品を写真で出品してもらい作品集として図録の特集号として発行することが出来ました。500部印刷し出品者には贈呈し、一部500円で販売中。

また、令和3年1月の舞台発表では11部13公演予定のうち、3部のみが規模を縮小し(会場収容人数の半数の入客)、新型コロナ感染拡大予防ガイドラインにそって公演を実施。17日(日)に合唱部、30日(土)にしまくとぅば部、31日(日)にピアノ部の公演を実施することが出来ました。

特に第42回ピアノコンクールは通常開催は困難との決断から、しかし「音楽教育の普及を目指した活動を絶やすことなく未来へつなげたい」という思いから演奏動画データ申し込みによる参加受付で実施しました。参加人数は80名に達しました。



しまくとぅば部
席に風船人形を置く、
お帰りにお持ち帰り



文化祭ピアノコンサート 関係者のみで行う、
後日、出演者へ録画DVDを進呈



文化祭合唱部 間隔を取りフェイスシールド着用して歌う

読谷村文化協会

会長 仲里 義光 / 事務局長 小波津 直也

令和2年度は、読谷村文化協会では例年実施している文化祭や子ども芸能祭、しまくとぅば語やびら大会、煌く新春大祝賀パーティなどが中止になりました。しかし第46回読谷まつりに文化協会として協力し、各琉舞研究所や審美健康体操サークル、フラのサークル、島唄部会等が座喜味城址や琉球村などの野外ステージで動画を撮影し、Youtube配信されました。コロナ禍の中で工夫しながら活動していく事で、違った表現の仕方や、これまでやらなかった取組に挑戦できることと、困難を前向きにとらえ活動していきたいと考えています。



審美健康体操部会



しまうた部会



琉球舞踊部会



フラダンス部会

嘉手納町文化協会

会長 山内 昌吉 / 事務局長 比嘉 裕美子

未聞の新型コロナ感染拡大で始まった令和2年度は、定期総会・祝賀会が中止となり、活動の自粛を余儀なくされました。

しかし、7月開催の「第十一回嘉手納町しまくとぅば語やびら大会」は、練習を重ね準備をしてきた子ども達の為に何とか開催できないかと検討を重ね、時機にも恵まれ、染防止対策を徹底し無事に開催することが出来ました。元気に発表する子ども達の姿に会場は大喝采。参加者からも開催に対し感謝の声が多く寄せられました。その後は、緊急事態宣言が発令されるなど日常は一変し、全ての事業が中止となりました。

令和3年度は、嘉手納町文化協会創立三十周年の佳節を迎えます。いまだ先行き不透明な状況ですが一日も早い終息を願い、諸先輩方が築いてきた地域文化を二十八団体約三〇〇名の会員と共に継承と更なる発展を目指し希望を持って日々精進を重ねてまいります。



北谷町文化協会

会長 桃原 雅子 / 事務局長 當眞 杏菜

北谷町文化協会は、昨年35周年を迎えました。設立当初6部会でスタートした文化協会も現在は古典芸能・民謡等の舞台部門が16部会、書道・華道・写真等の展示部門が7部会、約500名の会員とともに日々切磋琢磨し、地域発展に尽力をつくす文化団体として成長致しました。これも支えて下さる皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

総合文化祭は「美術展」「押花展」を開催し、町内外、県内各地からたくさんの方が足を運んで下さり、展示会6日間で500名を超えるお客様にご来場いただき大盛況で幕を閉じることができました。役員研修会は中北部の歌碑めぐりを行い、各部の部長や会員23名で北谷町から恩納村、うるま市などの歌碑を楽しみました。また、しまくとぅばオンステージは例年と異なり、舞台ではなく野外での無農薬野菜を使った参加型イベントを3月に実施しました。

参加型のイベント



無農薬野菜をつかって
しまくとぅばを学ぶ

北中城村文化協会

会長 喜屋武 馨 / 事務局長 大屋 みゆき

令和2年度はコロナに始まり、コロナで終わってしまった感じの一年でした。

まず、5月の定期総会が書面決議になり、続いてしまくとぅば語やびら大会・文化祭「展示部門」「舞台部門」の中止、合同祝賀・激励会が延期となり、唯一出来たのが、協会誌「しま12号」の発刊でした。

令和3年度は役員の交代も予定されており、心機一転という形になりますが、コロナの終息が期待できない中、新しい生活様式とうまくお付き合いしながら、一つ一つイベントをこなしていけたらと思っています。



中城村文化協会

会長 仲松 正敏 / 事務局長 稲嶺 盛昌

中城村文化協会においては令和2年度は、新型コロナウイルスに揺さぶられ、文化協会辞退の行事や各部会の舞台発表や、展示部門の事業等が中止となり、会員にとってはストレスがたまる1年となりました。

文化協会として会員の親睦を図る必要性を重要と考え、新型コロナウイルスの感染拡大防止に務め、屋外で会員一同が一緒になって親睦を深める機会として11月22日にグランドゴルフ大会を開催したところ多くの会員が参加し、日頃の閉そく感から解放され、大いに盛り上がりました。

会員の皆さんからも、これからもこういった事業を文化協会の活動として取り組んでほしいと要望がありました。

会員にとって、令和3年度はコロナに負けないで、中城の文化継承・発展に努めていく事と、心を新たにしました。令和3年度の事業として令和4年1月に中城文化まつりを計画して、ぜひ実施実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



令和2年11月22日に会員の親睦を目的にグランドゴルフ大会を開催した

宜野湾市文化協会

会長 新城 康弘 / 事務局長 上江洲 慶子

11月開催予定だった「しまくとぅば語やびら中部地区大会」はコロナ禍で中止となったが宜野湾大会に3名の応募があり、ビデオで素晴らしいうちなーぐちを披露した。また、沖縄県文化協会賞受賞伝達式を受賞者6名と執行部7名のみで市民会館会議室において執り行った。その他、令和2年度の事業として役員研修（東御周バスツアー）を3月に万全を期して実施する予定。

令和2年はコロナ禍に翻弄され、多くの課題を残す一年となった。ほとんどの事業が中止になったことでさらなる会員の減少とモチベーションの低下を如何に軌道修正できるか令和3年における当協会の課題である。



沖縄県文化協会賞受賞伝達式



しまくとぅば語やびら宜野湾大会出場者

浦添市文化協会

会長 玉城 千枝 / 事務局長 手登根 廣美

令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的蔓延に伴い、当会諸事業が中止や延期、書面総会を余儀なくされ、閉塞感に包まれた年でした。

そのような中、唯一実施した事業は縮小版文化祭と文化講演会のみでした。文化祭は11月16日（月）～20日（金）の日程で、例年開催場所の浦添市美術館から浦添市役所ロビーに移動して「第39回プチ文化祭」と銘打ち、実施致しました。美術・写真・書道・華道・盆栽の展示部門をメインに古典音楽・箏曲演奏・コンフォルト・弦楽五重奏の日替りミニ演奏を取り入れた新しい形の成果発表となりました。市庁内に響き渡る芸術の風、会員、市民の心に届いたことを確信し、制約の中での活動の在り方を考えさせられた事業となりました。

本年度、浦添市文化協会は創立40周年を迎えます。記念事業として、式典、第40回文化祭、記念誌発刊と“結～ゆい～”をテーマに益々の発展を期し、会員一同一丸となって取り組んでいるところです。



第39回
プチ文化祭
一展示

第39回
プチ文化祭
弦楽五重奏



西原町文化協会

会長 山田 武 / 事務局長 山里 勝也

西原町文化協会は平成2年4月に設立され、今年31年目を迎えます。主な事業としては、文化祭に全体研修会、各部会の発表会等の活動を予定しておりますが、去年からの新型コロナの影響は様々な脅威を与え、文化祭等の全面的な活動中止を余儀なくされました。

コロナ禍でも、西原さわふじマルシェのオープニングセレモニーでは、民謡部会が会場を大いに盛り上げました。西原南小学校では、しまくとぅばクラブへしまくとぅば部会が出向いて指導しました。また同校では、今年の書き初め会に書道部会が指導添削をしています。

2月には全体研修会で、沖縄の伝統工芸に触れるという学習目的で30名余りの会員が紅型染め体験をしました。

今後は、コロナ感染予防対策をしながら活動を模索することも必要でしょう。会員の高齢化による変化、減少という大きな課題も残っておりますが、若い会員を増やす手立ても考えながら協会の活発化を図って行きたいと思います。



令和2年度全体研修会
「トートバッグに紅型染め体験」
全員で紅型作品を持って



紅型染め体験「シンベエザメ」の
作品を持つ山田武会長

那覇市文化協会

会長 崎山 律子 / 事務局長 野原 巴

昨年度のあけもどろ総合文化祭会場で募った、「首里城支援募金」の那覇市への寄贈で今年は始まった。が、今年度は当協会の活動の中心である恒例のあけもどろ総合文化祭が、コロナ禍で余儀なく中止になった部会が多くあった。その中でも、感染予防対策を講じながら奮闘し、7部会が舞台発表、展示等、発表を行った。実施した部の会員にとっては、初体験の事ばかりであったが、どんな状況でも発表会を目標に、技芸の精進を怠らずに実現したことは、大きな成果となり、コロナの先に続く希望となった。

また、会員の企画で、那覇を知る第1弾、徒歩での「歌碑めぐり」を行い、好評であった。定員を越す希望者がいたが、ソーシャルディスタンスを保つため人数を制限した。参加できなかった会員にも状況が分かるように、ユーチューブでの配信を行った。



あけもどろ総合文化祭



歌碑めぐりユーチューブ



那覇市へ首里城支援募金の寄贈

豊見城市文化協会

会長 座安 獲移子 / 事務局長 金城 信三郎

豊見城市文化協会は、毎年、文化祭を始め、慰問公演、会員の研修事業、「しまくとぅば子ども教室」などを開設して文化活動の強化に努めてまいりました。

しかしながら、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の為、すべての事業が中止に追い込まれ、特に、新規事業として将来を担う子ども達の「歌三線、箏体験教室体験事業」を企画したが、学校の夏休み短縮により募集が困難となり中止を余儀なくされた。

このコロナ禍、各研究所も三密を避けるため個別指導などで対応するところもあれば、全く生徒たちが出て来なくて活動が止まっている研究所など、活動自粛中のところが多い。会員の減少傾向が続く中、更に追い打ちを掛け減少しないか心配である。

新年度は、創意工夫し活動再開できることを願って止まない。



老健施設での慰問公演でしまくとぅば子ども教室の成果を発表



文化祭で空手演武を披露する子ども達

八重瀬町文化協会

会長 神谷 清一 / 事務局長 比嘉 修

八重瀬町文化協会では、多くの事業が出来ませんでした。3月6日、7日に総合文化祭を開催しました。パーティションの使用やソーシャルディスタンスを確保するなど感染防止の対策をしっかりと楽しみました。



南城市文化協会

会長 與那嶺 紘也 / 事務局長 知念 良光

令和2年度事業は、総会が書面開催となり計画されていた多くの事業が中止となりました。そうした中でも、しまくとぅば語やびら地区大会に小渡錫幸氏、久手堅豊氏、親川秀光氏が出場。毎年可愛らしく発表する知念小学校の島田泰健君も参加することができました。沖縄県文化協会賞は、功労賞（文化活動）新城啓八氏、奨励賞（華道）中村幸子氏、団体賞（獅子舞）玉城伝統芸能保存会が受賞。沖縄県しまくとぅば普及功労者表彰は、座波次明氏が受賞し、南城市市長への表彰報告会が行われました。

コロナ禍で規模の大きな芸能発表などは中止となりましたが、無観客での「合同芸能発表会」や、感染症対策をしながら「令和3年新春の宴」「さんしんの日プレゼント企画」「写真展」などが規模を抑えて開催することができました。3月には「南城市大里地区芸能祭」を大里農村環境改善センターにて開催します。

南城市文化協会は今後とも会員のみなさまが健康で元気に文化活動ができるよう取り組んで参ります。

（★大里地区の発表の様子をyoutube配信しています。「南城・大里三線会」と検索してみてください）



南城市文化協会の與那嶺紘也会長他、受賞者表彰報告会 2020/12/17

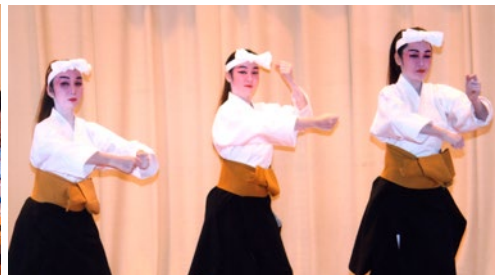


「大里合同芸能祭」無観客だが動画をyoutube配信

与那原町文化協会

会長 根川 清義 / 事務局長 久場 英

令和2年度は、全ての事業が中止になり文化協会の活動が大きく制限されました。写真は一昨年の文化祭の様式ですが、この活気が早く取り戻せるよう祈るとともに、会員一丸となって感染対策をしながら慎重に部会活動を進めていきたいと思っています。



南風原町文化協会

会長 與那嶺 芳夫 / 事務局長 神谷 敏充

まったく予期せぬ事が起きてしまった。

文化協会設立20周年という節目の年を迎え、新たな希望と決意を持って活動するという時期に、思いもよらぬ新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度の事業計画は軒並み中止になりました。例年総会において会費納付者が多いですが、総会も書面決議で済ませたため、なかなか会う機会がなく、未納者が多くて対応に苦慮しています。

今年度は南風原町の文化の継承や創造と発展に努めるため、文化協会会員の発表の場として毎年開催されている、南風原総合文化祭、しまくとぅば大会、受賞合同祝賀会（沖縄県、南風原町、県文化協会）、子ども文化祭を盛大に行い、歌碑巡り、他市町村文化協会との交流等も取り入れていきたいと思っています。コロナウイルスの影響で活動が止まっている部会の再活動を願っております。



昨年度の子ども文化祭



昨年度の文化祭の舞台

糸満市文化協会

会長 仲宗根 巴津美 / 事務局長 仲宗根 玲子

2020年、当文化協会は2月から全ての活動が停止した…。12月になりようやく少し動きがあり息を吹き返した。糸満市、社会福祉協議会、文化協会がタイアップして各地域デイサービス回りで敬老の方々に慰問をする事だった。25カ所を訪ねた。琉舞を交えてのミニライブ。皆の笑顔がマスクを通して伺えた。

2021年、3月 展示部門の春の逸品展を市役所のロビーにて開催。昨年は見送ったので、今回18回目の開催、作品の展示を楽しそうに設営。展示部門にも新しい春が来た。



久米島町文化協会

会長 島袋 完英 / 事務局長 村田 香織

今年度は新型コロナ感染拡大防止対策を久米島でも実施したため、文化芸能活動が一切できなくなるという異例事態が起きた年となりました。昨年度BOOM元ボーカリスト宮沢和史氏企画で実現した、植樹祭で植えたくちが少しずつ成長しております。WEBを使った配信など今まで取り扱まなかった新しい試みを始められる良い機会とはなりましたが、次年度は少しずつイベント行事が再会できるよう準備を進めていきたいと思ひます。



昨年度植樹したくちの芽

一般社団法人宮古島市文化協会

会長 饒平名 和枝 / 事務局長 松谷 初美

新型コロナの影響により、主催事業の市民総合文化祭や方言大会は止む無く中止といたしました。第4回「宮古島文学賞」は粛々と実施し、一次・二次選考を経て2月の最終選考（リモートで実施）を終え入賞作品が決定。今回は35都道府県から132作品の応募があり、その中から一席、二席、佳作の3作品が入賞しました。

方言継承の一環として、平成30年度に開催した「鳴りとうゆんみゃ〜く方言大会歴代チャンピオン大会」の模様を動画投稿サイトで配信いたしました。

また、地元ラジオ局エフエムみやこさんのご協力のもと、8地域（平良、西原、狩俣、伊良部、下地、上野、城辺、多良間）の方々に黄金言葉（日頃大切にしている方言・心に残っている方言・次世代に繋げたい方言）などをお話いただき「ばっしゃーならん みゃーくふつ」として放送いたしました。

その他、昔話を宮古方言に訳したものや地元のわらべ歌を本協会Webサイトにて掲載予定です。

「ばっしゃーならん
みゃーくふつ」の収録
の様子



第4回「宮古島文学賞」のリモートによる最終選考会の様子

石垣市文化協会

会長 江川 義久 / 事務局長 玻名城 安教

1994年に創立された当協会はその目標とする「創造・継承・発展・交流」に努めてきました。豊かな自然と、そのなかで育ってきた八重山の「歌と踊り」はこの島の人々の大きな活動の源になっています。その基盤のうえに諸文化活動を当協会は推進してきました。しかしながら、今年はこの順調な歩みを減速させるようなことに見舞われています。他協会も難渋されているコロナ禍がそれです。諸活動が軒並み中止、縮小に追い込まれています。

それ以上の問題にもさらされています。現在事務所は市管理のプレハブ(8室)にはいっていますが、入居上限が3年となっていて今年では退去しなくてはなりません。更新願いを提出しますが再入居できる保証はありません。他の組織にも公平に、とする市の言い分にも一理はありますが、市の標榜する「日本最南端の自然・文化都市」が泣きます。他の協会の実情も調べ、市の文化行政に対する配慮を期待したいと思います。



宜野湾市文化協会との交流



退去?石垣市文化協会

自主事業

しまくとぅば語やびら大会 特別Ver.

9月に開催予定だった第26回しまくとぅば語やびら大会は、中止となりました。替わりにこの5年間の出場者の中から1市町村1人ずつをピックアップして28名の動画を沖縄県文化協会のWebサイトのYoutubeチャンネルに掲載しました。OCNに協力いただき、すべて字幕入りの動画を掲載できました。<https://okinawa-bunkyo.com/>



**むとうぶぬ
すぐりむん
アセローラ**
並里 康次郎
本部町



**異国船と
オランダ墓**
遠矢 航太
名護市



**スーキミーキ
バマヌ
マギダク**
吉山 盛栄
宜野座村



**どうしゃ
たから**
糸数 美緒樹
恩納村



わーうっとう
山田 晴斗
うるま市



**ちゃくちゃくーぬ
あんまー**
上地 春瑠
沖縄市



おばぁとおじい
山城 誠 / 知花 栄汰 読谷町



音楽の大事さ
仲村 渠 妃乃
嘉手納町



新感覚!沖縄大和口クレオール
～あんぞーている世間や渡らーりーる～
玉城 臣之輔 / 崎山 倫 北谷町



アンマー にふえーどー

玉城 若子
北中城村



わったーたんめー・んーめー
與儀 美海/タイ・小華 中城村



うやふぁふじ とうめーてい

真栄里サマンサ
明美
宜野湾市



経塚ぬ碑文「金剛嶺」ぬ由来記
當眞 るい/金城 ひな 浦添市



ちかてい ぬくさびらな しまくとぅば

玉那覇 香代子
西原町



沖縄語に 誇り持ち

玉那覇 朝子
那覇市



ぬくちいちぶさる ウチナーグチ

外間 巴琉
豊見城市



しまくとぅば漫才
渡嘉敷 真治/小渡 錫幸 八重瀬町



僕の家の子ヤギ がきた

島田 泰健
南城市



わんねえー 与那原っ子

桑江 紀花
与那原町



喜屋武廻い

大城 心伶
南風原町



大好き! 琉球舞踊

加島 未希
糸満市



宮古ぬしゅー、 んまが話っさ 黄金言葉

セリック ケナン
宮古島市



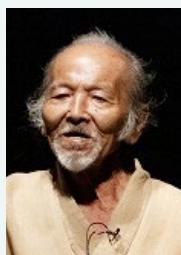
あまいどう ばらいどう ぷからす人生

池間 安子
宮古島市



ホームぬファー と言われた日

大島 千佳
石垣市



むにば 島言葉忘しきりや しまば 島忘しきる

石垣 金星
竹富町



むーるし どうなんむぬい あたきんだんぎ!

村松 稔
与那国町

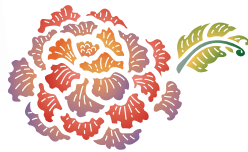


なんで島言葉を 大切にしないと いけないのですか

サブーナス
アウドリュース
京都市

自主事業 令和2年度 沖縄県文化協会賞 授賞式

令和2年度の沖縄県文化協会賞の受賞式典は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止といたしました。式典の代わりに受賞者の功績概要を掲載した冊子を受賞者の写真付きにして、ロゴ入りのバッグを記念品として制作し、受賞者にお届けしました。各市町村では感染対策をしたうえで、「沖縄県文化協会賞伝達式」を催していただき、市町村長を訪問して報告するなどそれぞれに受賞者を祝賀していただきました。



令和2年度「沖縄県文化協会賞」受賞者一覧			
推 薦	功 労 賞 (28名)	奨 励 賞 (27名)	団 体 賞 (19団体)
今帰仁村文化協会	上間 政志/古典音楽 三線	小浜 孝子/民謡	金城峯子琉舞愛好会
本部町文化協会	上間 和彦/古典音楽 三線	上原 良美/琉球民謡	もとぶ歌菜里蛙友の会
名護市文化協会	比嘉 勝子/琉球箏曲・八重山古典民謡箏曲		名護市文化協会 琉球舞踊部会
宜野座村文化協会	仲地 稔/写真・文化活動	安次富 寛順/書道	宜野座村文化協会 大正琴部会
金武町文化協会	山城 久良光/俳句	伊芸 政秀/写真・文化活動	親泊流 八重の会 仲田妙子琉舞研究所
恩納村文化協会	大城 和子/文芸	仲村 千代/文芸	名嘉真婦人会(ウシデーク)
うるま市文化協会	知念 千香子/琉球箏曲・古典音楽 三線・八重山古典民謡箏曲	奥原 幸子/古典音楽 箏曲	
	上地 澄子/書道	安慶名 榮/古典音楽 三線	
沖縄市文化協会	東恩納 安弘/書道	屋宜 桂子/大正琴	沖縄市文化協会 盆栽部会
	百名 加奈江/ピアノ	名幸 直子/書道	
読谷村文化協会	大城 千鶴子/書道	山内 眞英/盆栽	読谷村文化協会 盆栽部会
嘉手納町文化協会		前田 喜志子/琉球箏曲	
北谷町文化協会	西川 楚静/日本舞踊	金城 タミ/美術	北谷町 文化協会 しまくとぅば一般部会
北中城村文化協会	安里 幸男/陶芸・美術	安里 悦子/大正琴	北中城村 文化協会 古典芸能音楽部会
宜野湾市文化協会	中村 ヨリ子/茶道	奥浜 由貴子/華道	大謝名獅子舞保存会
	宮城 盛英/琉球民謡	名嘉真 喜美子/古典音楽 箏曲	
浦添市文化協会	上間 節子/琉球箏曲	末吉 弘子/古典音楽 箏曲	語やびら沖縄語ぬ会
	大城 宜武/文芸	宮城 美佐子/琉球舞踊・組踊	
西原町文化協会	仲間 秀雄/民謡	泉川 寛光/組踊	西原町 文化協会 茶道部会
那覇市文化協会	宮城 正枝/ピアノ	浦崎 直明/古典音楽 三線	那覇市文化協会 華道部会
	金城 千壽子/琉球舞踊	山田 義浩/社交ダンス	
豊見城市文化協会	山城 安子/古典音楽 箏曲	與座 盛康/古典音楽 三線	
八重瀬町文化協会	仲本 翠枝/華道	大城 仁子/古典音楽 箏曲	八重瀬町字当銘棒術保存会
南城市文化協会	新城 啓八/文化活動	中村 幸子/華道	玉城伝統芸能保存会
与那原町文化協会	安泉 直子/文化活動・健康文化	山内 トミ子/健康文化	与那原町文化協会 美術工芸部会
南風原町文化協会	宮城 武碩/古典音楽・琉球民謡・沖縄芝居	安里 台子/琉球舞踊・古典音楽 太鼓	南風原町文化協会 郷土芸能部 琉球箏曲部会
糸満市文化協会	上原 きみ子/琉球舞踊	加藤 米子/琉球舞踊	
(一社)宮古島市文化協会	翁長 靖夫/写真	前里 昌吾/芸能	宮古島市農漁村生活研究会
	古堅 宗和/書道		

受託事業

地域の文化継承・発信支援事業

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、予定していた国立劇場おきなわでの公演やシンポジウムの実施が中止となり、これまでの7年間で開催してきた公演とシンポジウムをまとめ、追加で聞き取りのアンケートを行い冊子にまとめました。また、来場者を集めてのシンポジウムの代わりに、3月23日には、「シマ

deシンポジウム(座談会編)―糸満ハーレー×しまくとぅば―を開催し、コロナの感染防止対策を開催し、動画は編集

して学校や図書館で活用してもらえるように配布し、文章は沖縄県文化協会のWebサイトに掲載しました。



「地域の伝統文化 継承の現状と課題」

平成25年度(2013年)	6月17日	地域の伝統芸能サーキット「エイサー×空手」
	7月14日	地域の伝統芸のサーキット「しまくとぅば×八重山芸能」
	9月28日	第1回 特選 沖縄の伝統芸能「源河の長者の太主(名護市)、座喜味棒(読谷村)、泊の地バーリー(那覇市)、新城のシーヤーマー(八重瀬町)、荷川取のクイチャー(宮古島市)」
	11月1日	地域の伝統芸のサーキット「綱引き×民俗芸能」
	2月8日	地域の伝統芸のサーキット「シニグ×海の食文化」
平成26年度(2014年)	8月30日	シマdeシンポジウム「クイチャー×しまくとぅば」
	11月29日	第2回 特選 沖縄の伝統芸能「瓦屋・述懐・蝶千鳥(本部町)、波平大主道行口説(恩納村)、字北谷 南之島(北谷町)、字宮平の獅子舞(南風原町)、大胴小胴(石垣市)」
	12月22日	シマdeシンポジウム「村の組踊×しまくとぅば」
	3月12日	シマdeシンポジウム「ウスデーク×しまくとぅば」
平成27年度(2015年)	10月10日	第3回 特選 沖縄の伝統芸能「棒かじゃで風・なぎなた・高平良万歳(金武町)、イリベシー・万歳口説ベシー(読谷村)、組踊 久志の若按司(西原町)、唐人行列(八重瀬町)、木綿花(久米島町)」
	12月6日	シマdeシンポジウム「平敷屋エイサー×しまくとぅば」
	2月12日	シマdeシンポジウム「謝名堂のウスデーク×しまくとぅば」
	3月13日	シマdeシンポジウム「地域の棒術×しまくとぅば」
	3月20日	シマdeシンポジウム「拝所の芸能×しまくとぅば」
平成28年度(2016年)	10月15日	第4回 特選 沖縄の伝統芸能「舞方・総踊り(大宜味村)、平敷屋エイサー(うるま市)、ハイカラ娘(南風原町)、津波古棒(南城市)、むんじゅる節(粟国村)」
	2月12日	シマdeシンポジウム「与那のウスデーク×しまくとぅば」
	3月26日	シマdeシンポジウム「津堅島の芸能×しまくとぅば」
	3月28日	シマdeシンポジウム「南城市の芸能×しまくとぅば」
平成29年度(2017年)	10月15日	第5回 特選 沖縄の伝統芸能「亀の甲・豊年祭(今帰仁村)、屋良のあやぐ(嘉手納町)、我如古のスンサーミー(宜野湾市)、小城棒術(八重瀬町)、伊江島の村踊 あかきな節・殿の御門・宮古節(伊江村)」
	11月23日	シマdeシンポジウム「移民の唄×しまくとぅば」
	2月18日	シマdeシンポジウム「南部地域の芸能×しまくとぅば」
平成30年度(2018年)	10月7日	第6回 特選 沖縄の伝統芸能「ヨド天川(宜野座村)、泡瀬の京太郎(沖縄市)、ミルク節(豊見城市)、棒術・獅子舞(南城市)、
	7月28日	シマdeシンポジウム「糸満の組踊×しまくとぅば」
	11月24日	シマdeシンポジウム「那覇の組踊×しまくとぅば」
	2月11日	シマdeシンポジウム「松田の組踊×しまくとぅば」
令和元年度(2019年)	8月24日	シマdeシンポジウム「津嘉山の芸能×しまくとぅば」
	10月12日	第7回 特選 沖縄の伝統芸能「国頭サバクイ(国頭村)、宮城ウシデーク(うるま市)、伊集の打花鼓(中城村)、天人(南城市)、獅子舞(石垣市)

受託事業

しまくとうば普及センター運営事業

URL : shimakutuba.jp



項目	事業名	事業内容	実績
人材養成・活用	①普及人材の育成	講師養成講座(上級)	各地域、しまじまの言葉を護り、後世に伝えていくための講師を養成する講座。初級は概論と基礎知識の習得、中級は各地域のしまくとうばの特徴と実践、上級はしまくとうばの教育法
		講師養成講座(中級)	緊急事態宣言が延長されたため中止
	②人材育成バンク ③育成した人材の派遣	しまくとうばクラブ、授業等に講師派遣	しまくとうばに親しむ、琉歌をととしてしまくとうばを学ぶ等之べ71回 具志川小学校(うるま市)、嘉手納小学校(嘉手納町)、宜野湾小学校(宜野湾市)、当山小学校(浦添市)、銘苅小学校(那覇市)、北谷中学校(北谷町)、陽明高等学校(浦添市)、宮城が原児童センター(浦添市)、わくわく学童クラブ屋富祖(浦添市)、わくわく学童クラブ前田(浦添市)
講習会等の開催	シンポジウム・オンライン番組制作隊『ザシード』、オンラインしまくとうばで技の伝承2020、実践しまくとうばにツール作成法	コロナ禍においてもオンラインを通じて普及への道筋を構築・発信する。単語帳、テキスト等ツール作成にあたって基本的なことを学ぶ	沖縄ハンズオンNPO、うちなあ島んちゅ倶楽部、しまくとうばに伝承研究会
普及ツールの作成	しまくとうば単語帳6級、7・8級、9級	小学校1年～中学校2年レベルまで、検定の級に合わせて読本、教科書に載っている単語をしまくとうばにして集めた	検定受験・学校等のクラブ活動で活用(普及センター)
	しまくとうば会話集(大山言葉、宮城島言葉、石垣言葉)	「語ろう使おうしまくとうば」をコンセプトにした会話集	学校、公共図書館、銀行等に配布し日常生活で活用できるようにする(普及センター)
	ぐしちん、とうぐち、さちむとうぶ、しーく、いずみ、ぬふあくとうば単語帳中級(本部町6地区)	中南部の単語帳をベースに本部6地域の言葉の単語帳を作成	検定受験・学校、公共図書館、自治会等の活動で活用(本部言葉編集委員会)
	しうかむに単語帳初級	中南部の単語帳をベースに石垣市四力字の単語帳を作成	検定受験・学校、公共図書館、自治会等の活動で活用(石垣市文化協会すまむに部会)
	クラーとうカーラカンジャー(絵本)、ユファールとガラサー(絵本)	沖縄の民話をしまくとうばに翻訳し児童生徒が親しみやすいように作成した	学校、公共図書館、自治会等の活動で活用(中城村文化協会うちなあ部会)
	わたおばがばなし(絵本)	語やびら大会で発表した内容を絵本に編集	学校、公共図書館、自治会等の活動で活用
	じょーばんにさったるイン(紙芝居)	沖縄の民話をしまくとうばに翻訳し児童生徒が親しみやすいように作成した	学校、公共図書館、自治会等の活動で活用(朗読ボランティアすだち)
データベースの構築・連携・協力	しまくとうばラジオ(放送用CD作成)	5分以内でしまくとうばについてわかりやすく解説	授業、給食時間等で放送ししまくとうばへの関心を高める(泊小学校)
	2020Web版しまくとうば語やびら地区大会	北部・中部・南部・宮古・八重山地区代表の語りをWeb掲載	出場7組8名(北部地区)、出場14組15名(中部地区)、出場8組8名(南部地区)、出場4組4名(宮古・石垣地区)
	琉歌部門	おきなわ文学賞と連携して作品を募集	応募作品数:233作品 入賞:8作品
機能総合	しまくとうば演劇戯曲部門		応募作品数:8作品 入賞:5作品
	情報提供		
	アドバイス	問い合わせ	電話。メール等による問い合わせ
広報活動	センターの周知活動(県内マスコミ広報)	●事業広報依頼 ●新報、タイムス、本部言葉単語帳贈呈式取材新聞掲載 ●OTV、QAB、講師養成講座取材放送 ●新報、講師養成講座取材新聞掲載 ●新報、タイムス、石垣絵本贈呈式取材掲載 ●QAB、語やびら大会取材放送 ●QAB、めーにちしまくとうば ●QAB、しまくとうば検定を取材放送 ●FMおきなわ事業広報 ●OTV、QAB講師養成講座上級認定証交付式取材放送 ●新報、タイムス、講師養成講座上級認定証交付式取材掲載	
	ホームページ広報(しまくとうばナビの運用)	●Web、SNSでの情報発信 ●活動団体の紹介 ●自主作成の絵本、紙芝居の音声付Web掲載 ●語やびら大会Web掲載 ●沖縄市文化協会しまくとうば部会発表Web掲載 ●本部町6字のしまくとうばによる詩の朗読のWeb掲載	
効果的な取組	検定9・8・7・6級	小学生1～2年(9級)、3～4年(8級)、5～6年(7級)、中学1～2年(6級)レベル単語と文の習得(基本的な挨拶、会話の習得)	9級(申込99名)/受験数69名 合格54名、8級(申込116名)/受験数80名 合格75名、7級(申込125名)/受験数83名 合格83名、6級(申込225名)/受験数160名 合格136名
	検定9級学校団体	小学生1～2年レベル単語と文の習得(基本的な挨拶、会話の習得)	(申込574名)泊小学校/受験数350名 合格274名、宜野湾小/受験数127名 合格111名